

参 考 资 料

(1) 沿 革

昭和22年林政統一による機構改革にともない、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪営林局内の試験調査部門を編成がえのうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関 西 支 場

- 昭和25. 4 大阪支場京部分室設置さる
- 昭和27. 7 京部分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として 12 ha を決め、同時に桃山研究室を設置した
- 昭和31. 3 庁舎、研究室を新築、移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和38. 4 調査室設置
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林、保護の2部）
- 〃 防災研究室を岡山試験地から移設

岡 山 試 験 地

- 昭和10. 8 岡山県上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
- 昭和13. 1 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む

(2) 土 地 お よ び 施 設

1. 土 地

1. 庁 舎 敷 地

	関 西 支 場	岡山試験地
庁舎および付属敷	11,539m ²	1,999m ²
苗 畑	13,270	4,264
樹 木 園	7,862	
見本林、実験林	27,998	64,817
計	60,669	71,080
2. 宿 舎 敷 地	9,373	916
3. 島 津 試 験 林	7,045	—
4. 宇 治 見 試 験 林	3,812	—
計	80,899	71,996

2. 主 な 施 設

庁舎および研究室	4 棟	1,582.0	1 棟	346.5
温 室	1 //	54.5		0
ガ ラ ス 室	1 //	61.6		0
隔 離 温 室	1 //	51.3		0
殺 菌 培 養 室	1 //	48.6		0
樹病定温実験室	1 //	91.0		0
昆 虫 飼 育 室	1 //	105.8		0
林木水耕施設室	1 //	26.0		0
宿 舎	25 //	1,254.4	2 //	196.6

(3) 組 織

(昭和46年11月1日現在)



* は主任研究官

(4) 会 議 の 開 催

1. 第13回(昭和46年度)林業試験研究推進近畿・中国ブロック協議会

昭和46年11月26日、当支場会議室で、管内府県林務行政担当者および公立林業試験研究機関の長、大阪営林局、林野庁、当支場などの関係者が列席し、近畿・中国ブロックの協議会が開催された。

当ブロック協議会の議題として、さいきんとくに環境保全の問題がクローズアップされているおりから、「保健保全林の取扱いについて」というテーマで協議が行われた。

まず最初に都市近郊林の例として、大阪営林局から、自然休養林の取扱いをしている国定公園箕面山国有林の森林施業の概要について、スライドを用いて説明があり、ついで、奥地山岳地帯を対象とした保健林の例として、広島県々民の森(広島県比婆郡所在)の全容について説明があった。つぎに、本場調査部只木企画室長より、林業試験研究報告(239号)「保健保全林—その機能・造成・管理」を中心にその内容について概要説明がおこなわれた。

また学術経験者として列席された、岡崎教授(京大)馬岡専務理事(林業同支会)からも意見が出され、行政側、研究側とも、この課題をめぐって活潑な討議が行われた。

保健保全林の問題じたい広範多岐にわたり、意見交換の段階で結論的なものは出されなかったが、今後林業を経営する立場から、ないがしろにすることはできない問題であり、より一層の研究の積重ねを要望するということであった。

2. 昭和46年度関西地区林業試験研究連絡協議会とその共同研究活動について

○第24回総会

昭和46年9月、広島県林業試験場において開催、昨年度より専門部会長を各場所長に委嘱したので、各部会の一年間の活動状況について、それぞれ担当部会長より説明がなされた。そのうち部会活動の共同研究体制、テーマなどの取上げ方などについて意見がだされた。

なおシイタケ害菌の一つであるトリコデルマ菌の研究について、適切な防除対策がなく、研究員の理解も充分とはいえないので、専門家を混えた研究会を当支場で企画してくれないかという要望がだされ、当场保護部と協議のうえ開催することとした。

○各部会活動の状況

昭和46年度中におこなわれた部会活動はつぎの通りであるが、当场研究員もこれらに参加し、助言あるいは情報交換をおこない、公立機関との研究上の緊密な連絡をおこなった。

部 会 名 (研究班名)	開 催 期 日	開 催 場 所	当 番 機 関
樹木公害	46. 7.21～22	三重県菰野町	三重県林業センター
育 林 (ア カ マ ツ)	46. 6.10～11	大津市	滋賀林指
機 械	46. 9.28～30	山口市	山口林試
育 種	47. 1.18～20	愛媛市	愛媛林試
特 産 (ク リ 新 品 種)	47. 2. 8～10	兵庫県山崎町	兵庫林試
特 産 (シイタケほだ木)	47. 2. 1～ 3	大阪府羽曳野市	大阪農林センター
育 苗	47. 2.15～16	京都市	京都林試
保 護	47. 2.17～18	岡山県勝央町	岡山林試
育 林 (林 地 除 草 剤)	47. 1.25～27	兵庫県山崎町	兵庫林試

(5) 鑑定診断ならびに防除対策研究指導

従来から病虫獣害ならびに林木の生理的、気象的な障害による鑑定診断および防除対策について、指導依頼を、国、各府県の行政機関や、林業関係各種団体ならびに林業家からうけているが、昭和46年度も各研究室共同のもとに鑑定診断をおこなった。

本年度とりあつかった件数は、全部で、68件で、内容別にみるとつぎのとおりである。

○樹病関係 (12件)

依頼者は、国有林1件、民有林11件で、林木害7件、苗木3件その他2件であった。樹種では、スギ、アカマツ、ヒノキ夫々2件である。

○昆虫関係 (48件)

依頼者は、府県市町村が多く38件、国有林6件、その他会社、個人であった。

害虫別では、マツクイムシ11件で最も多く、その他穿孔虫、カイガラムシ、アブラムシ、スギハマキ、ヒノキカワムグリなどそれぞれ3件あてであった。被害樹種では、マツ17件、スギ16件が多く、その他である。

○獣害 (8件)

ノネズミの害がほとんどで、被害樹種はヒノキが大部分、マツが若干ある。依頼者は公民有林6件、国有林から2件あった。

(6) 受託研究, 調査, 指導

用 務	委 託 者	用 務 先	出 張 者	
			研究室名	氏 名
松くい虫防除薬剤(生立木)試験 これからの林業と林業先進における 枝打ち技術 地域類型別森林計画の設計および 現地調査	林 業 薬 剤 協 会 岩手県立林業講習所 日本林業技術協会	岡山県林業試験場 盛岡市 福井市	昆 虫 造 林 経 営	小林富士雄 早稲田 収 久田 喜二
松くい虫駆除薬剤試験 松くい虫防除薬剤の効果調査 杉の衰弱調査	林 業 薬 剤 協 会 " 福井県林務課	新宮宮林署 徳島県林業試験場 福井県永平寺町	昆 虫 " 造 林 樹 病	小林富士雄 " 早稲田 収 紺谷 修治
これからの林業経営について 最近の造林技術について(講演) 林業技術現地適応検討会に出席	鳥取県溝口町森林組合 福井県林務課 香川県農林部林務課	鳥取県溝口町 森林組合 福井市教育センター 香川県林業指導所	経 営 造 林 "	久田 喜二 早稲田 収 "

(7) 研 修 関 係

技術研修受入れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
赤祖父 愷 雄	富山県林業試験場	46. 6. 22~ 7. 21	主要森林害虫の飼育法および大気汚染地域における樹病の鑑定診断法について
森 田 勝 久	山口県林業試験場	46. 6. 1~ 8. 15	樹病の鑑定診断実験法と菌類の同定について
山 田 栄 一	島根県林業試験場	47. 1. 10~ 2. 29	森林害虫の固定ならびに実験方法データ整理方法
早 川 武 彦	富山県林業試験場	47. 2. 7~ 3. 6	成木林の枝打間伐による雪害防止の解明について

当場転員研修

氏 名	研 修 先	期 間 研 修	研 修 内 容
上 野 賢 爾	農林水産技術会議	46. 10. 25~10. 27	電子計算機プログラミング (地域研修会)
細 田 隆 治	"	"	" "
長谷川 敬 一	"	46. 11. 29~12. 4	電子計算機プログラミング
吉 岡 二 郎	本 場	46. 12. 13~12. 18	航空写真利用研修
吉 岡 章 次	"	47. 2. 28~ 3. 4	図書研修

(8) 見 学 者

区 分	件 数	人 数	備 考
国	30	93	
府 県	18	108	
学 校 { 大 学	4	51	
{ 高 中 学 校			
{ 小 学 校	3	238	
団 体 { 森 林 組 合	2	13	
{ 木 材 組 合 等	1	2	
{ そ の 他			
一 般	13	27	
外 人	3	15	オーストラリア, 韓国
計	74	547	

・46年4月1日～47年3月31日まで

(9) 人 の う ご き

46. 4. 1付

東北支場会計課	会 計 係	上 野 武 敏
会 計 係 長		
庶務課用度主任	会 計 係	酒 谷 正 憲
四国支場保護研究室長	樹病研究室	寺 下 隆 喜 代

46. 5. 1付

庶務課庶務係	調 査 室	黒 田 ま ち 子
〃 会 計 係	木曾分場	板 野 和 男
調 査 室	北海道支場	江 波 雅 彦

47. 2. 20付

依 願 退 職	土 じょう 研 究 室	木 下 貞 次
---------	-------------	---------